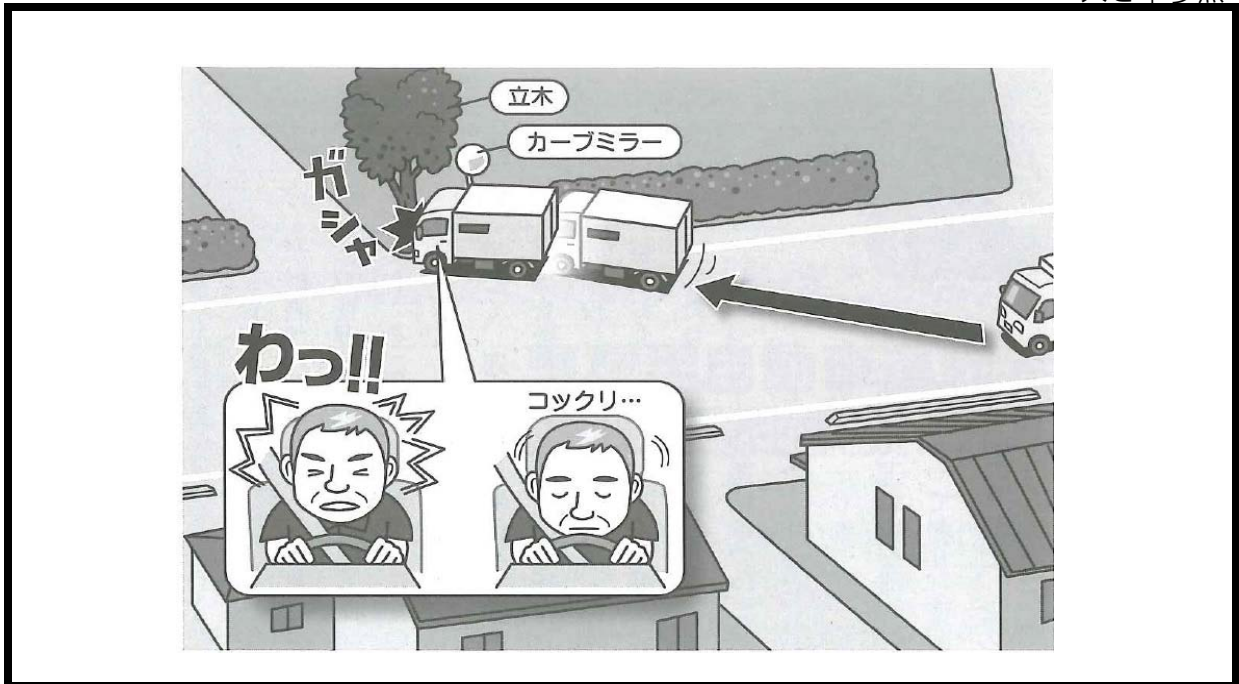


■事故の概況

人と車参照



事故類型：単独事故

発生日時：昼食後

当事者A：軽貨物車 60歳代 男性

■ 事故の概要

Aはいつものように通り慣れた中央線が引かれていない道路を走行していました。制限速度の時速40kmで走行中に一瞬居眠りをしてしまい、気が付いた時には車線を逸脱し反対側にある立木に衝突していました。

■ 事故から学ぶ

Aの前日の睡眠時間は8時間ほどあり、一般的には睡眠不足とは言えない時間でしたが、事故を起こす10分ほど前まで昼食を取って休憩をしていました。皆さんも食後眠気が湧いてきた経験が少なからずあるのではないのでしょうか。また、Aにとって普段よく使う、見通しも良く交通量も少ない単路を走行していたことも気が緩み眠気を催した要因の一つと考えられます。

ちょっと油断し気を抜いただけで事故を起こしてしまう可能性は十分あります。一見安全に見える単調な道といえども、気を緩めることなく常に体調や周りに気を配り、細心の注意を払いながら運転するようにしましょう。